

ニカラグア訪問 甘楽町民ら交流

五輪・パラでホストタウン

東京五輪・パラリンピックで、中米ニカラグアのホストタウンを務める甘楽町の町民ら



ニカラグアの五輪・パラリンピック委員会幹部らを表敬訪問した森平副町長ら

が、14日までの日程で同国を訪れている。柔道の指導や、昨年9月に台風の影響で足止めを食い急ぎよ来町した野球のU18選手団との再会などを通して、交流を深めている。一行

は森平仁志副町長を含む計6人。3日にニカラグアへ到着し、現地の日本大使や五輪・パラリンピック委員会を表敬訪問するなどしてきた。イベントでは同町をPR。同町のNPO法人自然塾寺子屋の卒業生がボランティアとして勤めた場所も訪問した。

柔道の指導者で、いずれも同町在住の新しい井淳司さんと白石豊樹さんが帯同し、スポーツ庁のナショナルトレーニングセンターで形を中心に教えた。参加したルイス・モントスさん(26)はボクシングから柔道へ転向し、中米の「投げの形」部門で優勝した経験があるという。「2人の先生の指導で、形の重要性や崩し方の大切さを学べた」と感謝した。

訪問は、国際協力機構(JICA)の調査団としての事業で、16日に帰国する予定。